

日本研究



一般におまの知られていないところがある。

が、海外、とりわけ英語圏 米盟をはじめ世界各国の大学の日本研究を探るために

極めて重要役割を担っている。100人を超え、また法

わたり果たしてきたユニーク 博士や政府関係の

な教育機関がアメリカ・カナダやアジアにまで

女子大や連合日本研究センター

している。

センターは1983年、東

京に設立され、87年に横浜市

の招きを受け、現在ほかなら

ない地区に本部を置いてい

る。全米を代表する15の大学

提意見

国際編 関

@yokohama

アメリカカナダ大学連合
日本研究センター所長
ジェームズ・バクスター

EWISを 読む



放題じや... はざま隆治

はタフな専門家で語られてい

る。全米を代表する15の大学

の招きを受け、現在ほかなら

ない地区に本部を置いてい

る。全米を代表する15の大学

の招きを受け、現在ほかなら

ない地区に本部を置いてい

る。全米を代表する15の大学

の招きを受け、現在ほかなら

ない地区に本部を置いてい

る。全米を代表する15の大学

の招きを受け、現在ほかなら

ない地区に本部を置いてい

る。全米を代表する15の大学

の招きを受け、現在ほかなら

英語圏での人材育成

知り、学生同士の雑談や冗談の海外研修プログラムの

でさえ日本語で言うところの多

くが、カオス外国文化の体

が日本語のクラスを設置して

れた日本研究・分析に強く影

響を受け、もたらされてきて

いるところ。これは中国語の

クラスを設置している校数

の多い。一方で、ほとんど

が初、中級レベルの日本語教

育であり、上級日本語教育機

関の数は極めて少ないとい

うが、海外に

のが実情である。このことは

セクターが設立されるならば、

英語が堪能な日

本語を習得して、それを止

めることが求められる。

セクターの目的は、学生に

いっか行われたが、その多

くは、北米における日本の

関が依然として高いとい

う。近年、特に世界での

なものであり続けている。そ

していくに違いない。

米語圏との関係は極めて重要

が、今後ますます重要性を増

えている。

は、日本をめぐり、日本と北

米語圏との関係は極めて重要

が、今後ますます重要性を増

えている。

は、日本をめぐり、日本と北

米語圏との関係は極めて重要

が、今後ますます重要性を増

えている。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

転車が快調

昨年、購入した東京都西東京市の主婦(仮)は「近くの買い物でも車で行っていたが、健康を意識して電動アシスト自転車に乗るようになった。アシスト自転車に乗ると、多くが「た」と呼ぶ。

08年12月に法守基が設立され、

2億円でアシストする、と可能な

なった。坂道を上るときなどは、運

転者の負担が大きい際の負担軽減につ

ながった。

で、アシスト自転車は1993

の健康志向や環境への配慮などが背景にある。自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。

自転車協会によると、2009年の電動アシスト自転車の国内出荷台数は前年比15.6%増の36万4815台で、ここ10年右肩上がりで推移している。

千トナリで走行を補助する電動アシスト自転車の販売が体罰と、坂道や重たい荷物を積んだときでも快適に乗りこなすという利便性に加え、消費者の健康志向や環境への配慮などが背景にある。